

教員の研究活動 2004(平成16)年1~12月



大学校長

[論文]

佐々木和子, 伊藤愛子, 竹尾恵子: 新人看護職育成費用に関する研究, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 71-74, 2004.
Mieko Ozawa, Masayuki Mizuno, David R. Evans & Keiko Takeo: An Investigation into the Nurse Behavior with regard to Human Caring in Japan, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 20-26, 2004.

[講演・学会発表]

竹尾恵子: 第30回日本看護研究学会会長講演「ヒューマンケアの看護実践への具現化」平成16年7月29日, 大宮ソニックシティ.

[ビデオ]

竹尾恵子監修, 駒松仁子, 山田巧, 佐川美枝子製作: ビデオ「国立小児病院VP~音楽と癒し~」, 2004.3.

[活動報告]

竹尾恵子, 佐藤鈴子: サウジアラビア臨床看護指導者能力強化事前評価調査, 2004年3月13日~3月26日.
Reiko Sato, Keiko Takeo, Mitsuko Inaoka: The Lecture titled 'An Increasing Aged Population and Health Care System in Japan', for the Master Students at Department of Research, Evaluation and Administration in Nursing, Faculty of Nursing, Burapha University, Thailand, May 2004.

人間科学(情報学)

[著書]

柏木公一: 病院・看護の管理システム構築・運営と情報活用, 井部俊子, 中西睦子監修, 看護管理学習テキスト5 看護情報管理論, 127-143, 日本看護協会出版会, 2004.

[論文]

柏木公一, 西岡みどり, 小澤三枝子: インターネットから利用できる文献検索グループワークシステムの構築とその評価, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 83-90, 2004.

[講演・学会発表]

柏木公一: 看護用語体系の種類と概要. 医療情報システム研究会, 49-56, 2004.

[その他]

柏木公一: ICNPをもっと理解するために SNOMEDとICNP, インターナショナルナーシングレビュー, 27(2), 60-65, 2004.

柏木公一: 看護情報学が看護・医療の何を変えるのか 電子カルテ: 臨床における記録の電子化の影響, インターナショナルナーシングレビュー, 27(5), 35-39, 2004.

柏木公一: 看護システムの概要と導入の考え方, Innervision IT Vision(6), 30-33, 2004.

柏木公一: 医療・看護技術の進歩と現代の看護 情報技術が示す医療現場の未来像, Nurse Eye, 17(3), 30-40, 2004.

柏木公一: もっと使える看護サマリー書くために, 看護さろく, 14(8), 3-7, 2004.

柏木公一: 電子カルテ導入時に看護職が知っておくべきこと メーカーとの接し方の基本とコツ, 看護, 56(14), 2004.

人間科学(語学)

[翻訳]

松岡里枝子, 水野正之, 柏木公一: 竹尾恵子, Basanti Majundar 著; PBLのすすめ, 学習研究社, 1-121, 2004.

松岡里枝子: 三遊亭京楽作落語; 天使の産声, 初天神, New Jersey, USA March, 2004.

松岡里枝子: 第2回人文科学学会ハワイ国際年次大会での研究論文3本について書かれた英文を翻訳; Pragmatics Matters, 15; 5-6, March, 2004.

[論文]

Rieko Matsuoka, David R. Evans : Socio-cognitive approach in second language acquisition research, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 2-10, 2004.

Rieko Matsuoka : Gender Variation in Compliment Exchange, 日本語学論説資料, 第39号第5分冊(forthcoming), 2004.

Rieko Matsuoka : Gender effect on explicitness in proffering compliments ; Proceedings of JALT Pan-Pragmatic SIG, 37-43, January, 2004.

Rieko Matsuoka : An analysis of academic discourse, 湘南英文学, 1, 85-100, March, 2004.

David R. Evans : Student evaluation of teachers, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 91-99, 2004.

Mieko Ozawa, Masayuki Mizuno, David R. Evans, Keiko Takeo : An investigation into nurses : Behavior with regard to human caring in Japan, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 20-26, 2004.

[講演・学会発表]

Rieko Matsuoka : Interaction analysis of academic discourse. Thai TESOL International Conference, Thailand, 2004.

Rieko Matsuoka : Academic discourse socialization of Japanese females. TUJ Colloquium of Applied Linguistics, Tokyo, 2004.

Rieko Matsuoka : Willingness to Communicate in English. The 9th Conference of Pan-Pacific Association of Applied Linguistics, South Korea, 2004.

Rieko Matsuoka : Willingness to Communicate in English among Japanese College Students. 湘南英文学会夏季総会, Yokohama, 2004.

David R. Evans : Presentation 'Oral Testing', Hiroshima, August 2004 'Current Issues in ELT'organised by Birmingham University, UK.

[その他]

Rieko Matsuoka : Session Chair. Annual Conference of American Association of Applied Linguistics, Portland, USA, 2004.

Rieko Matsuoka : Session Chair. TUJ Colloquium of Applied Linguistics. Tokyo, 2004.

Rieko Matsuoka : Session Chair. Discourse Analysis. JALT Pan-SIG. Tokyo, 2004.

Rieko Matsuoka : Review article for 'Are you friend? : Negotiating friendship in conversations between network marketers and their prospects.'By Kong, Kenneth C. C. Language in Society, 32, 487-522, 2003 ; Pragmatics Matters, 15, 8, 2004.

基礎看護学(基礎看護学)

[著書]

三枝清美 : わが国の母子保健の変遷—その歴史, 吉沢豊予子編集, 女性生涯看護学, 17-24, 真興交易医書出版部, 2004.

[論文]

Mieko Ozawa, Masayuki Mizuno, David R. Evans, Keiko Takeo : An investigation into the nurses' behavior with regard to human caring in Japan, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 20-26, 2004.

佐藤鈴子, 濱本洋子, 林稚佳子, 松本昌子, 水野正之, 奥坂喜美子 : 要介護後期高齢者における BMI(Body Mass Index) と ADL(Activities of Daily Living)に関する一考察, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 65-70, 2004.

[講演・学会発表]

Mitsuko Inaoka, Masayuki Mizuno : Lecture titled 'The overview of health care system and nursing in Japan', for the master students at Department of Research, Evaluation, and Administration in Nursing, Faculty of Nursing, Burapha University, Thailand, 2004.

三枝清美 : 行政における不妊カップルへの対応, 日本不妊看護学会誌, 1(1), 30-34, 2004.

吉岡多美子, 沢井史穂, 佐々木由香, 前川宣子, 服部希恵, 柳沢理子, 三枝清美 : マルチメディアを用いたヘルスケア提供者のためのリソース・アーカイブの試み, 第63回日本公衆衛生学会総会, 2004.

三枝清美 : 産後うつ病スクリーニングを虐待防止にどう活かすか, 日本子どもの虐待防止研究会, 第10回学術集会福岡大会, p41, 2004.

三枝清美 : 日本における看護研修の評価について, 第1回バックマイ病院看護研究セミナー, 71-83, 2004.

[その他]

三枝清美 : 子ども虐待予防に関する最近の行政の動きから, 助産師, 58(3), 6-10, 2004.

基礎看護学(看護教育学)

[論文]

森真由美・亀岡智美・定廣和香子・舟島なをみ：新人看護師行動の概念化，看護教育学研究，13(1)，51-64，2004.

鈴木美和・定廣和香子・亀岡智美・舟島なをみ：看護職者の職業経験の質に関する研究—測定用具「看護職者職業経験の質評価尺度」の開発，看護教育学研究，13(1)，37-50，2004.

松田安弘・亀岡智美・山下暢子・鈴木美和・野本百合子・舟島なをみ：看護における性の異なる少数者の経験；男子看護学生と男性看護師の経験の統合，看護研究，37(3)，253-262，2004.

中山登志子・亀岡智美：看護学実習教授活動自己評価尺度(SCTB)の開発；看護教育学における基盤研究発展型応用研究として，看護研究，37(3)，237-251，2004.

亀岡智美・中山登志子・横山京子・山下暢子・舟島なをみ：大学院博士課程において看護学を専攻する学生に関する研究の現状；1982年から2002年に発表された研究の内容に焦点を当てて，国立看護大学校研究紀要，3(1)，35-43，2004.

[研究報告]

舟島なをみ，野本百合子，三浦弘恵，太田節子，田中裕二，鈴木美和，村上みち子，山下暢子，吉富美佐江，塚本友栄，宮芝智子，伊藤正子，山品晴美，本郷久美子，松田安弘，亀岡智美，中山登志子，永野光子，小川妙子，横山京子，鈴木恵子，中谷啓子，山澄直美：COE サブプロジェクト F グループ「日本型看護職者キャリア・ディベロップメント支援システムの開発」，平成 15・16 年度報告書，2004.

[講演・学会発表]

Tomomi Kameoka, Naomi Funashima, Midori Sugimori : Empirical testing of the King's theory of goal attainment focusing on the relationship between role conflict and stress of nurses in interactions with patients, Honor Society of Nursing, Sigma Theta Tau International, 15th International Nursing Research Congress, Ireland, Dublin, 2004.

Kumiko Hongo, Keiko Nakaya, Yasuhiro Matsuda, Tomomi Kameoka, Naomi Funashima : Role model behaviors of nurses perceived by nursing students, Honor Society of Nursing, Sigma Theta Tau International, 15th International Nursing Research Congress, Ireland, Dublin, 2004.

Toshiko Nakayama, Kumiko Hongo, Tomomi Kameoka, Naomi Funashima, Midori Sugimori : Nursing faculty perceptions of clinical teaching behaviors in Japan, Honor Society of Nursing, Sigma Theta Tau International, 15th International Nursing Research Congress, Ireland, Dublin, 2004.

Miwa Suzuki, Tomomi Kameoka, Naomi Funashima : Quality of nurses' work experience, nursing care, and their relationships with nurses' attributes, Honor Society of Nursing, Sigma Theta Tau International, 15th International Nursing Research Congress, Ireland, Dublin, 2004.

亀岡智美・鈴木美和・野本百合子・舟島なをみ：看護基礎教育課程における講義・演習の評価を目的とした研究の動向；1999年から2003年に発表された研究の分析，第35回日本看護学会(看護教育)抄録集，62，2004.

山下暢子・村上みち子・吉富美佐江・宮芝智子・亀岡智美・三浦弘恵・鈴木美和・野本百合子・舟島なをみ：看護学教員のための職業活動自己評価尺度の開発；信頼性・妥当性の検証，第24回日本看護科学学会学術集会講演集，291，2004.

山澄直美・中山登志子・本郷久美子・横山京子・鈴木恵子・小川妙子・亀岡智美・鈴木美和・野本百合子・舟島なをみ：諸外国の看護継続教育に関する研究；米国の看護継続教育への影響要因に焦点を当てて，第24回日本看護科学学会学術集会講演集，217，2004.

[その他]

亀岡智美：「看護実践に携わる看護職者の学習ニードとその充足」；シンポジウムの司会にあたって，日本看護教育学学会第14回学術集会，看護教育学研究，13(2)，15，2004.

亀岡智美：Sigma Theta Tau International 37th Biennial Convention に参加して，看護研究，37(1)，85-89，2004.

亀岡智美：研究継続を通じた看護職者の発達とそれを支える要因，看護教育学研究，13(1)，1-7，2004.

舟島なをみ・亀岡智美・鈴木美和：予測理論の開発に向けた研究の実際，特集「看護教育学における理論開発」，看護研究，37(3)，211-218，2004.

亀岡智美・野本百合子・舟島なをみ：記述理論の統合による新たな知識体系の構築，特集「看護教育学における理論開発」，看護研究，37(3)，219-227，2004.

亀岡智美：看護研究における個人情報保護，看護，56(7)，68-71，2004.

基礎看護学(看護管理学)

[論文]

Mieko Ozawa, Masayuki Mizuno, David R. Evans, Keiko Takeo : An investigation into the nurses' behavior with

regard to human caring in Japan, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 20-26, 2004.
柏木公一, 西岡みどり, 小澤三枝子: インターネットから利用できる文献検索グループワークシステムの構築とその評価, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 83-90, 2004.

成人看護学 I (急性期)

[著書]

西岡みどり: 1. サーベイランスの必要性・基本・解析・フィードバック, IV. サーベイランス, ICD 制度協議会監修, ICD テキスト編集委員会編集: ICD テキストプラクティカルな病院感染制御, メディカ出版, 45-49, 2004.

[論文]

大原まゆみ, 丸口ミサエ, 西尾和子, 田中優子, 平井さよ子: 高度専門病院に勤務する看護師の定着可能性, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 75-82, 2004.

柏木公一, 西岡みどり, 小澤三枝子: インターネットから利用できる文献検索グループワークシステムの構築とその評価, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 83-90, 2004.

[研究報告]

稲岡光子, 平賀恵子, 山田巧: 国際医療協力研究委託費, 開発途上国における看護技術移転教育プログラムの開発に関する研究, 研究期間 2002-2003 年度, 2003 年度研究報告書.

遠藤晶子, 川久保清, 李廷秀: 虚血性心疾患の一次・二次予防を同時目的とした Family-based intervention のための基礎的研究; 夫婦間の冠危険因子・生活習慣の類似性について, 財団法人健康管理事業団第 20 回研究助成論文(報告書), 2004.

[講演・学会発表]

窪田志穂, 西岡みどり, 小野瀬友子, 伊藤ひとみ, 今村久美子, 中島由美, 関口朋美, 小倉さゆり, 小島由香, 方尾志津, 栗林直子: 清潔行為の違いによる末梢留置カテーテルの適切な留置期間の検討, 第 19 回日本環境感染学会総会, 横浜, 2004.

中原博美, 山田巧: 手術待機患者に対するインフォームドコンセント場面における看護師の役割, 第 35 回日本看護学会抄録集(成人看護 I), 85, 2004.

山田巧, 平賀恵子, 稲岡光子: 開発途上国における看護教育分野での国際協力活動と求められる能力, 第 24 回日本看護科学学会学術集会, 199, 2004.

稲岡光子, 平賀恵子, 山田巧: 国際医療協力研究委託事業 開発途上国における看護技術移転教育プログラムの開発に関するワークショップ, 2004.

遠藤晶子, 川久保清, 李廷秀: 虚血性心疾患患者夫婦における冠危険因子・生活習慣の類似性について, 第 10 回日本心臓リハビリテーション学会, 2004.

川畑安正: シンポジウム, 看護基礎教育における政策医療看護学構築の現状と課題, 第 2 回国立病院看護研究学会学術集会, 2004.

高橋泰子: 日本防菌防黴学会第 31 回年次大会 教育講演 「院内感染防止の現状」 2004 年 5 月 27 日.

Yamamoto, Y., Ugai, K., Takahashi, Y.: The effective hand drying to eliminate bacteria from washed hands, 5th international Nursing Research Conference, JANS, 2004 年 10 月.

[研究助成]

稲岡光子, 平賀恵子, 山田巧: 開発途上国における看護基礎教育分野での看護技術移転に携わる人材育成プログラムの開発に関する研究, 平成 16 年度国際医療協力研究委託事業, 課題番号 14 公-5.

[その他]

山田巧: 知ってる?こんな器具・器械 車椅子, プチナース, 13(4), 72-73, 2004.

山田巧: 知ってる?こんな器具・器械 ベッド, プチナース, 13(5), 72-73, 2004.

山田巧: 知ってる?こんな器具・器械 ストレッチャー, プチナース, 13(7), 72-73, 2004.

山田巧: 知ってる?こんな器具・器械 洗髪車・ケリーパッド, プチナース, 13(9), 70-71, 2004.

山田巧: 知ってる?こんな器具・器械 酸素ボンベ・酸素流量計, プチナース, 13(10), 72-73, 2004.

山田巧: 知ってる?こんな器具・器械 酸素マスク・酸素カニューラ, プチナース, 13(11), 72-73, 2004.

山田巧: 知ってる?こんな器具・器械 酸素テント, プチナース, 13(12), 72-73, 2004.

成人看護学II(慢性期)

[論文]

小西敏子, 佐藤禮子: 治療法選択を通じた乳がん患者の主体的な療養姿勢を促進するための継続的看護援助, 千葉看護学会誌, 10(1), 26-32, 2004.

[研究報告]

石嶋みやこ, 福室真理子, 小西敏子, 飯野京子, 茅根孝子, 鈴木光子, 千葉明子, 河口眞理, 穴井美香: がん患者の治療法の自己決定を擁護するための看護師の援助行動に関する研究; がん告知の現状, 医師が看護師に期待する役割と看護援助の実態, 平成 15 年度国立病院・療養所共同基盤研究報告, 2004.

[講演・学会発表]

小西敏子, 佐藤禮子: センチネルリンパ節生検を選択した乳がん患者の心理状況に変化をきたす事柄, 第 18 回日本がん看護学会学術集会, 2004.

石嶋みやこ, 福室真理子, 小西敏子, 飯野京子, 茅根孝子, 鈴木光子, 千葉明子, 河口眞理, 穴井美香: がん患者の治療法の自己決定を擁護するための看護師の援助行動に関する研究; がん告知の現状と看護援助の実態, 第 2 回国立病院看護研究学会学術集会, 2004.

猪本晶子, 飯野京子: 緩和的化学療法を受ける造血器腫瘍患者の看護におけるジレンマに対する分析, 第 18 回日本がん看護学会, 2004.

桑田加奈子, 吉田恭子, 小野瀬友子, 武田明子, 飯野京子: HIV/AIDS 患者をサポートする家族の困難, 第 2 回国立病院看護研究学会学術集会, 2004.

桑田加奈子, 吉田恭子, 小野瀬友子, 武田明子, 飯野京子: HIV/AIDS 患者をサポートする家族のストレスへの対処, 第 13 回日本エイズ学会, 2004.

[その他]

飯野京子: 聴診器はこうして使う 根拠がわかるヘルスアセスメント実践講座 聴診と共に行うフィジカルアセスメント, 看護学雑誌, 68(4), 354-358, 2004.

成人看護学II(政策医療看護学)

[著書]

大原まゆみ: クリニカルパスに関する文献・情報へのアプローチ; 落海真喜枝, 小島愛子編集: 歯科口腔領域のクリニカルパス, 医歯薬出版株式会社, 213-215, 2004.

[論文]

大原まゆみ, 丸口ミサエ, 西尾和子, 田中優子, 平井さよ子: 高度専門病院に勤務する看護師の定着可能性, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 75-82, 2004.

[学会発表]

佐々木智美, 中辻香邦子, 吉田扶美代, 丸口ミサエ, 阿部まゆみ: 進行がん患者のリンパ浮腫に対するケアの効果; リンパ浮腫に対する CDP を実践した結果の報告, 第 18 回日本がん看護学会学術集会, 2004.

成育看護学(小児看護学)

[著書]

駒松仁子: 子どもの理解を深める, 谷川弘治, 駒松仁子, 松浦和代, 夏路瑞穂 編, 病気の子どもの心理社会的支援入門, 9-54, ナカニシヤ出版, 2004.

[論文]

仁尾かおり, 駒松仁子, 小村三千代, 西海真理: 先天性心疾患をもつ思春期・青年期の患者に関する研究の概観, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 11-19, 2004.

仁尾かおり, 藤原千恵子: 先天性心疾患をもつ思春期の子どもの母親の思いと配慮, 日本小児看護学会誌, 13(2), 26-32, 2004.

仁尾かおり, 藤原千恵子: 先天性心疾患をもつ思春期の子どものコーピング, 第 34 回日本看護学会論文集(小児看護), 65-67, 2004.

文字智子, 高田一美, 石見和世, 仁尾かおり, 高谷裕紀子, 河上智香, 藤原千恵子: 小児専門病院の看護師における職務ストレスとサポート, 第 34 回日本看護学会論文集(小児看護), 141-143, 2004.

河上智香, 藤原千恵子, 仁尾かおり, 石見和世, 文字智子, 高田一美, 高谷裕紀子: 小児専門病院に勤務する看護師の職務

- ストレスとサポートに関する研究, 大阪大学看護学雑誌, 10(1), 11-19, 2004.
- 西村明子, 河上智香, 藤原千恵子, 林田麗, 星和美, 彦惣美穂, 石井京子, 仁尾かおり, 石見和世, 古賀智影, 高谷裕紀子: 看護師の属性による職務ストレスとサポート認知の差異, 大阪大学看護学雑誌, 10(1), 21-27, 2004.
- 河上智香, 西村明子, 藤原千恵子, 星和美, 林田麗, 仁尾かおり, 彦惣美穂, 石井京子, 石見和世, 古賀智影, 高谷裕紀子: 看護系大学卒業看護師の属性によるキャリア認知の差異, 第34回日本看護学会論文集(看護総合), 63-65, 2004.
- 林田麗, 星和美, 彦惣美穂, 石井京子, 仁尾かおり, 石見和世, 古賀智影, 高谷裕紀子, 河上智香, 西村明子, 藤原千恵子: 看護経験3年未満の大学卒業看護師のキャリア認知と職務ストレスとの関係, 第34回日本看護学会論文集(看護教育), 148-150, 2004.
- 彦惣美穂, 星和美, 林田麗, 藤原千恵子, 河上智香, 西村明子, 仁尾かおり, 高谷裕紀子, 石見和世, 古賀智影, 石井京子: 短期大学卒業看護師のキャリア認知と属性との関係, 第34回日本看護学会論文集(看護管理), 201-203, 2004.
- [研究報告]
- 藤原千恵子, 石井京子, 星和美, 河上智香, 西村明子, 高谷裕紀子, 仁尾かおり, 彦惣美穂, 林田麗, 古賀智影, 石見和世, : 看護系大学卒業看護者のキャリア形成に関する探索的研究, 平成13・14・15年度文部科学省科学研究費補助金報告書, 1-92, 2004.
- [講演・学会発表]
- 東谷みゆき, 小村三千代: 臨地実習における感染予防行動に対する看護学生の認識, 第14回日本看護学教育学会講演集, 164, 2004.
- 小村三千代: 青年期の筋ジストロフィー患者に関わる看護師の戸惑い, 第24回日本看護科学学会学術集会講演集, 257, 2004.
- 藤井恵, 文字智子, 高田一美, 石見和世, 仁尾かおり, 高谷裕紀子, 河上智香, 藤原千恵子: 一般病院小児病棟における看護師の職務ストレス研究, 日本小児看護学会第14回学術集会講演集, 106-107, 2004.
- 文字智子, 高田一美, 石見和世, 仁尾かおり, 高谷裕紀子, 藤井恵, 河上智香, 藤原千恵子: 混合病棟における看護師の職務ストレス研究, 日本小児看護学会第14回学術集会講演集, 108-109, 2004.
- 高田一美, 文字智子, 石見和世, 藤井恵, 仁尾かおり, 高谷裕紀子, 河上智香, 藤原千恵子: 小児看護を实践する看護師が認知するサポートに関する研究, 日本看護研究学会雑誌, 27(3), 117, 2004.
- 石見和世, 高田一美, 文字智子, 仁尾かおり, 高谷裕紀子, 河上智香, 藤原千恵子, 高城美圭, 高城智圭: 小児と関わる看護師の職務ストレス研究; 病院・病棟形態と状況要因の違いによる職務ストレス認知の差異, 第35回日本看護学会抄録集(小児看護), 88, 2004.
- 仁尾かおり, 駒松仁子, 西海真理: 小児看護領域におけるフェールセーフ技術の習得; 小児看護学実習にビデオ学習と演習を取り入れた効果, 第35回日本看護学会抄録集(小児看護), 92, 2004.

成育看護学(母性看護学)

[論文]

- 佐々木和子, 伊藤愛子, 竹尾恵子: 新人看護職育成費用に関する研究, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 71-74, 2004.
- 亀岡智美, 中山登志子, 横山京子, 山下暢子, 舟島なをみ: 大学院博士後期課程において看護学を専攻する学生に関する研究の現状; 1982年から2002年に発表された研究の内容に焦点を当てて, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 35-43, 2004.
- 中山登志子, 亀岡智美: 看護学実習教授活動自己評価尺度(SCTB)の開発; 看護教育学における基盤研究発展型応用研究として, 看護研究, 37(3), 39-53, 2004.
- 中田かおり: 助産師と倫理, 助産師, 58(1), 110-113, 2004.
- 中田かおり: 子ども虐待と医療専門職の役割, 助産師, 58(3), 49-55, 2004.
- 小林美亜, 鈴木琴江, 中田かおり, 北澤直美, 池田俊也, 堺秀人: 週及的診療録レビューにより有害事象を把握するための方法: 看護師による有害事象把握のための基準作成, 看護管理, 14(9), 756-762, 2004.
- 中田かおり, 池田俊也, 小林美亜, 北澤直美, 鈴木琴江, 兼児敏浩, 廣瀬昌博, 桑平一郎, 北井啓勝, 平尾智広, 長谷川友紀, 長谷川敏彦, 堺秀人: 医療事故の全国的発生頻度に関する研究における有害事象の判定基準について, 病院管理, 41(4), 35-47, 2004.

[研究報告]

- 舟島なをみ, 野本百合子, 三浦弘恵, 太田節子, 田中裕二, 鈴木美和, 村上みち子, 山下暢子, 吉富美佐江, 塚本友栄, 宮芝智子, 伊藤正子, 山品晴美, 本郷久美子, 松田安弘, 亀岡智美, 中山登志子, 永野光子, 小川妙子, 横山京子, 鈴木恵子, 中谷啓子, 山澄直美: COE サブプロジェクトFグループ「日本型看護職者キャリア・ディベロップメント支援システムの開発」, 平成15・16年度報告書, 2004.
- 堺秀人, 池田俊也, 大道久, 落合慈之, 高野繁, 土谷普一郎, 中田かおり, 長谷川敏彦, 長谷川友紀, 平尾智広: 医療事故

の全国的発生頻度に関する研究報告書，平成 15 年度厚生労働科学研究費補助金事業研究報告書，2004.

[研究助成]

松岡恵，戸田律子，中田かおり，谷津裕子，森昌代：リスク管理を含めた諸外国の包括的産科管理のあり方に関する研究，平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業，H 16—医療—040.

[講演・学会発表]

Toshiko Nakayama, Kumiko Hongo, Tomomi Kameoka, Naomi Funashima, Midori Sugimori : Nursing faculty perceptions of clinical teaching behaviors in Japan, 15th International Nursing Research Congress, Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing, Ireland, Dublin, 2004.

中山登志子，舟島なをみ：母性看護学教育研究の動向，日本看護研究学会雑誌，27(3)，103，2004.

中山登志子，吉富美佐江，三浦弘恵，鈴木美和，野本百合子，舟島なをみ：看護学実習カンファレンスの教授活動自己評価尺度の開発；信頼性・妥当性の検証，第 24 回日本看護科学学会学術集会講演集，148，2004.

山澄直美，中山登志子，本郷久美子，横山京子，鈴木恵子，小川妙子，亀岡智美，鈴木美和，野本百合子，舟島なをみ：諸外国の看護継続教育に関する研究；米国の看護継続教育への影響要因に焦点を当てて，第 24 回日本看護科学学会学術集会講演集，217，2004.

[その他]

中山登志子：研究成果の蓄積と活用による看護教育学の発展；看護教育学理論の開発を目指して，日本看護系学会協議会日本学術会議第 18 期看護学研究連絡委員会，平成 13 年度～平成 15 年度活動報告書，16，2004.

精神・老年期看護学(精神看護学)

[著書]

森千鶴：精神看護学，2005 年版ひとりで学べる看護師国家試験問題と詳解，1101-1187，2004.

森千鶴：状況設定(精神看護学)，2005 年版ひとりで学べる看護師国家試験問題と詳解，1465-1509，2004.

下里誠二：英国における触法精神障害者とその看護，日本精神科看護技術協会監修，精神科看護白書，精神看護出版，2004.

[論文]

森千鶴，前田宗紀：音刺激に対する生体反応，日本看護技術研究学会誌，3(1)，28-32，2004.

鈴木美穂，森千鶴：統合失調症者における家族の協力度・困難度・理解度の認識の比較，山梨大学看護学会誌，2(2)，45-49，2004.

高波澄子，森千鶴：在宅ホスピスケアの普及を阻むもの(第一報)；全国ホスピス・緩和ケア病棟連絡協議会会員へのアンケートをととして，ホスピスケアと在宅ケア，12(1)，51-59，2004.

[学会発表]

Takanami S., Mori C., : Factors Hindering the development and acceptance of home hospice care in Japan found by a questionnaire survey, 15th. World Congress on Medical Law, Book of Proceedings, paper number, 119, 00 2004.

坂井郁恵，三橋英雄，松本賢哉，金子一恵，森千鶴：精神病者の居場所に関する研究；病棟の日常生活場面で患者が示す「位置」の調査より，第 29 回日本精神科看護学会抄録集，72，2004.

大堀早苗，伊藤克枝，田野口桂子，表景子，浅沼瞳，齋藤幸美，戸澤順子，森千鶴：うつ病患者の自己効力感を高める自己管理プログラム，服薬自己管理を中心に，第 29 回日本精神科看護学会抄録集，85，2004.

坂井郁恵，三橋英雄，森千鶴：精神科ナースのアサーションと自他意識との関連，第 35 回日本看護学会抄録集(精神科看護)，58，2004.

下方友子，多田貴志，森千鶴：看護職者の職業的アイデンティティに関わる要因，第 35 回日本看護学会抄録集(精神科看護)，61，2004.

藤森里実，森千鶴：意図的な観察の視覚情報取り込みと観察記録の特徴；視覚情報に焦点をあてて，第 45 回日本人間工学会誌，40(臨)，70，2004.

戸澤順子，下方友子，多田貴志，森千鶴：看護師のバーンアウトに関連する要因；所属する診療科による比較，第 30 回日本看護研究学会雑誌，27(3)，114，2004.

藤森里実，森千鶴：精神科看護師の視覚情報取り込みと観察記録の特徴，第 30 回日本看護研究学会雑誌，27(3)，126，2004.

岸田佐智子，森千鶴：老年看護学実習における看護学生の痴呆性老人理解の過程，日本看護学教育学会誌，第 14 回学術集会講演集，105，2004.

山崎千枝美，森千鶴：倫理的問題遭遇時の学生の反応と教員のかかわり；手術を受ける患者の看護学実習を中心に，日本看護学教育学会誌，第 14 回学術集会講演集，120，2004.

- 安藤高子, 森千鶴: 学生と『共に学ぶ』実践を継続している臨地実習指導者の認識, 日本看護学教育学会誌, 第14回学術集会講演集, 178, 2004.
- 田中久美子, 森千鶴: 看護教員の学習不適応学生の理解; 場面想定の回答の分析から, 日本看護学教育学会誌, 第14回学術集会講演集, 179, 2004.
- 大迫充江, 鍋田芳子, 瀬野佳代, 下里誠二, 森千鶴: 精神科看護師が患者から受ける暴力とサポートの実態, 第35回日本看護学会抄録集(看護管理), 78, 2004.
- 佐藤みつ子, 高田谷久美子, 白田梨奈, 渡邊タミ子, 森千鶴: 独居高齢者の健康状況と福祉サービスのニーズ, 日本公衆衛生雑誌, 51(10), 737, 2004.
- 佐伯幸治, 森千鶴: 地域住民の精神障害者に対する態度とその関連要因に関する研究, 日本公衆衛生雑誌, 51(10), 746, 2004.
- 森千鶴, 佐藤みつ子: 高齢者の清潔行動に影響を与える要因, 日本公衆衛生雑誌, 51(10), 777, 2004.
- 下里誠二, 釜英介, 薄田恒夫, 相馬厚, 北野進, 石川博康: 入院中の精神障害者における暴力とその短期予測に関する検討1, 第35回日本看護学会(精神看護)抄録集, 102, 2004.
- [その他]
- 森千鶴, 下里誠二: 看護師との共同作業 看護師が受けている精神科看護教育, 精神科, 4(5), 318-322, 2004.
- 下里誠二, 神長誠, 石川博康, 河村昭憲: クリニカルパスを始めよう, 東京都立松沢病院の取り組みから, 触法精神障害者・長期閉鎖病棟入院者の単独外出クリニカルパス; 触法精神障害者への適用の実際, 精神科看護, 143: 63-68, 2004.
- 下里誠二, 神長誠, 石川博康, 河村昭憲: クリニカルパスを始めよう, 東京都立松沢病院の取り組みから, 触法精神障害者・長期閉鎖病棟入院者の単独外出クリニカルパス; 心理教育的アプローチを取り入れて, 精神科看護, 142: 61-68, 2004.
- 下里誠二, 松尾康志: 包括的暴力防止プログラムの開発, 精神看護, 17(6), 32-39, 2004.
- 下里誠二, 松尾康志: 包括的暴力防止プログラムの開発, 看護管理, 14(12), 2004.
- 下里誠二, 大迫充江, 山田洋, 村上茂, 小松容子: 記録とアセスメント, (宮本真巳, 「触法精神障害者の看護ならびに地域支援の手法に関する研究」(平成15年度 厚生労働科学研究研究費補助金 ころの健康科学研究事業「触法行為を行った精神障害者の精神医学的評価, 治療等に関する研究」(主任研究者松下正明)報告集, 573-622, 2004.
- 森千鶴, 佐藤みつ子: 看護管理者が身につけるべき臨床看護研究論文 書き方・まとめ方; 量的研究デザインと研究プロセス, ナースマネージャー, 5(10), 84-90, 2004.
- 森千鶴, 佐藤みつ子: 看護管理者が身につけるべき臨床看護研究論文 書き方・まとめ方; 質的研究デザインと研究プロセス, ナースマネージャー, 5(11), 74-79, 2004.
- 森千鶴, 佐藤みつ子: 看護管理者が身につけるべき臨床看護研究論文 書き方・まとめ方; 研究論文のまとめ方と発表の仕方, ナースマネージャー, 5(12), 43-48, 2004.
- 森千鶴: 精神看護学ケースカンファレンスの会, 山梨大学看護学会誌, 2(2), 57-59, 2004.
- 森千鶴, 佐藤みつ子: 臨床看護実践と看護研究の方法; テーマの設定, ナースマネージャー, 6(7), 77-82, 2004.
- 森千鶴, 佐藤みつ子: 臨床看護実践と看護研究の方法; 看護研究計画書の書き方, ナースマネージャー, 6(8), 75-80, 2004.
- 森千鶴, 佐藤みつ子: 臨床看護実践と看護研究の方法; 看護研究で活用するデータ分析, ナースマネージャー, 6(9), 67-72, 2004.

精神・老年看護学(老年看護学)

[論文]

佐藤鈴子, 濱本洋子, 林雅佳子, 松本昌子, 水野正之, 奥坂喜美子: 要介護後期高齢者におけるBMI(Body Mass Index)とADL(Activities of Daily Living)に関する一考察, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 65-70, 2004.

[講演・学会発表]

阿南みと子, 佐藤鈴子: 在宅高齢者の生きがいの要因について, 第35回日本看護学会抄録集(地域看護), 9, 2004.

Reiko Sato, Keiko Takeo: In-service education(continuous education) for novice nurses; The preparatory study team on strengthening capacity of clinical advisor, Workshop, Riyadh, Dammam, Jeddah, Kingdom of Saudi Arabia, 2004.

Reiko Sato, Keiko Takeo, Mitsuko Inaoka: Lecture titled 'An increasing aged population and health care system in Japan', for the master students at Department of Reserch, Evaluation, and Administration in Nursing, Faculty of Nursing, Burapha University, Thailand, 2004.

国際看護学(在宅看護学)

[論文]

松井和子, 俵麻紀, 佐川美枝子: 人工呼吸器長期依存者の生活の質に影響する地域呼吸管理システムとその特徴; 日本の在宅人工呼吸療法とカナダ BC 州地域呼吸管理プログラムを比較して, 国立看護大学校研究紀要, 3(1), 27-34, 2004.

[講演・学会発表]

岡美智代, 西川浩昭, 高橋真理, 林啓子, 沢宮容子, 樋之津淳子, 竹鼻ゆかり, 佐川美枝子, 菊地千鶴子, 加賀谷今栄, 須藤祐司: 透析患者の透析医療満足度尺度の開発, 日本透析医学会雑誌, 37, Suppl.1, 826, 2004.

[その他]

松井和子: 在宅人工呼吸器使用者の QOL を高める自立生活型呼吸ケアの必要性, 特集「在宅人工呼吸器使用者の QOL と呼吸ケア」, Home Care MEDICINE, 12-14, August 2004.

国際看護学(国際看護学)

[著書]

平賀恵子: 国際協力に必要な組織化能力, 井部俊子, 中西睦子監修, 看護管理学習テキスト② 看護組織論, 192-202, 日本看護協会出版会, 2004.

[研究助成]

稲岡光子, 平賀恵子, 山田巧: 開発途上国における看護基礎教育分野での看護技術移転に携わる人材育成プログラムの開発に関する研究, 平成 15 年度国際医療協力研究委託事業 課題番号 14 公-5.

[講演・学会発表]

平賀元美, 小林紀明, 平賀恵子: ケアマネジャーの在宅療養者自立支援のためのケアマネジメント(1); 事例で見るニーズの優先順位と根拠, 日本看護学教育学会第 14 回学術集会講演集, 124, 2004.

小林紀明, 平賀元美, 平賀恵子: ケアマネジャーの在宅療養者自立支援のためのケアマネジメント(2); 事例で見るケアマネジメントの内容と職種との関連, 日本看護学教育学会 第 14 回学術集会講演集, 125, 2004.

平賀恵子, 山田巧, 稲岡光子: 開発途上国における看護教育分野での国際協力活動と求められる能力, 第 24 回日本看護科学学会学術集会, 2004.

[その他]

Mitsuko Inaoka, Masayuki Mizuno: Lecture titled “The overview of health care system and nursing in Japan” for the masters program students at Department of Research, Evaluation, and Administration in Nursing, Faculty of Nursing, Burapha University, Thailand, in May 9, 2004.

臨床教員

[講演・学会発表]

宇都宮智, 飯白純子, 後藤みさ, 藤田幸枝: 統合失調症における身体的拘束一時的解除の査定の実態, 第 35 回日本看護学会(精神看護), 18, 2004.

宇都宮智, 飯白純子, 後藤みさ: 統合失調症における一時的解除が及ぼす影響についての研究, 第 30 回日本看護研究学会学術集会, 2004.

宇都宮智, 松本賢哉, 山口博子, 青山廣子: 隔離・拘束時の 1 日の援助数の比較, 第 2 回国立病院看護研究学会学術集会, 2004.

瀬野佳代, 宇都宮智: 隔離・拘束時の看護の実態; 勤務帯による比較, 第 24 回日本看護科学学会学術集会, 2004.

大柄昭子: 精神科急性期病棟の患者の語りを聞く体験, 日本精神保健看護学会第 14 回学術集会, 2004.

大柄昭子, 山口隆広, 畠山辰夫, 小鹿野雪江: 慢性病棟におけるグループの取り組み, 日本精神科看護技術協会 2004 年度専門学会リハビリテーション看護, 2004.

中原博美, 山田巧: 手術待機患者に対するインフォームドコンセント場面における看護師の役割, 第 35 回日本看護学会(成人看護 I), 2004.

松本賢哉: 精神科臨床実習における患者に対する否定的な感情と学生の不安との関連, 第 30 回日本看護研究学会学術集会, 2004.